

# 県政映画上映会

～秋田昭和の時代 映像アーカイブ～

平成29年8月29日(火) 秋田県公文書館 3階 多目的ホール  
午前の部 午前11時～正午 午後の部 午後2時～午後3時

## ④ 昭和42年8月「県政ニュースNo.92」 ・夏の男鹿半島

秋田国体以来、一段と整備され、圧倒的な人気を呼んでいる、県立公園男鹿。寒風山へのドライブインは、私達に、快適なドライブを満喫させてくれます。柔らかい日差しのうえでは、夏の日を一杯に浴びて、家族連れや若い人達が、思い思いに楽しんでいます。頂上の展望台から望む風景は、まさに大パノラマをなしています。ナマハゲの発祥地、門前。鬼が一夜にして築いたという、九百九十九段の石段を登ると、赤神神社、五社堂が立っています。その昔は、天台宗の霊場として、東北文化の一大中心地として栄えたと言いますが、当時の繁栄振りは、僅かにこの五社堂に残すのみとなっています。



毎年、開設されるキャンプ村は、県内外の若い人で、一杯。昼は泳ぎ、夜になるとキャンプファイヤーを囲み、思い切り若さを楽しんでいる姿は、戸賀湾ならでは見られない風景です。

女性的な美しさを誇る草原の大地と、男性的な海岸を併せ持つ半島の最北端、入道崎。強い磯の香を存分に吸い込んで、陽気に楽しむグループが、あちこちで見られます。男鹿の夏は短く、お盆が過ぎると、この波静かな海は泡立ち、波が岩に砕け、その様相は一変します。

## ⑤ 昭和42年10月「県政ニュースNo.94」

### ・農村での結婚難対策

今年は豪雪に見舞われ、苗代造りが心配されましたが、作業は順調に進み、5月に入っての好天で、苗も丈夫に育ち、昨年より三日ほど早い田植えが行われました。

しかし、農村は、今、どこも嫁不足、婿不足が深刻化しています。仙北郡の中仙、六郷、千畑、仙南、仙北村の五町村では、この問題解消に乗り出し、8月に寒風山で、若者達の交流会を開きました。途中、天王高等農業学園を見学。農村のモデル住宅では、「早くお嫁さんを見つけ、こんな家を造ろう。」などと、興味深げに見学していました。

真夏の太陽が照りつける、寒風山の芝生の上では、グループで和やかに昼食をとり、これからの農業の事など、熱心に語り合っていました。午後は、県の、わたなべ先生の指導で、歌やフォークダンスに興じ、時の経つのも忘れ、楽しい一日を過ごしました。



～次回は11月3日(金)に開催予定です～

### ■ 秋田県公文書館 ■

〒010-0952 秋田市山王新町14-31

TEL 018-866-8301

FAX 018-866-8303

E-mail koubun@apl.pref.akita.jp



### 【公文書館からのお知らせ】

平成29年度企画展「明治150年～秋田県の誕生～」

前期：8月26日(土)～9月25日(月)

後期：10月27日(金)～11月29日(水)

当館2階特別展示室にて開催中！

## 本日のプログラム

### ◆ ごあいさつ ◆

#### ◆ 前半

#### ① 昭和33年4月「県政ニュースNo.11」

- ・加熱育苗法、婦人酪農講習会
- ・児童福祉(保育所)、すしづめ学級
- ・集団就職出発
- ・永久橋の完成、道路・河川改良工事 ほか



#### ② 昭和34年6月「県政ニュースNo.21」

- ・県議会正副議長決まる
- ・東北に初のディーゼル機関車(奥羽本線)
- ・季節に拾う・・・レンゲ、秋田フキ、養蜂
- ・農業用水ダム建設進む(旧六郷町) ほか

#### ◆ 後半

#### ③ 昭和35年3月「県政ニュースNo.25」

- ・予算県議会開く
- ・雪国の民芸品(旧十文字町・旧増田町)
- ・動き出したビート工場(大館市)
- ・健康な村めざして(旧雄和村) ほか



#### ④ 昭和42年8月「県政ニュースNo.92」

- ・夏の男鹿半島
- ・寒風山、頂上展望台、門前の石段、舞台岩
- ・大滝、石門、戸賀湾、水族館工事 ほか

#### ⑤ 昭和42年10月「県政ニュースNo.94」

- ・収穫、稲づくり
- ・農村での結婚難対策、男女グループ交流による婚活
- ・ささら舞(旧中仙町)
- ・収穫量の審査、大型コンバインの導入 ほか



# ～はじめに～

## 郷土秋田のニュース映像を5本上映!

かつて「県政映画」は、「県政だより」「県政ニュース」などの名前で、県内各地の映画館で幕あいに上映され、その時々々の県政に関するニュースや各地域の話題などを提供していました。

秋田県公文書館では、これら県政映画を保存し閲覧室で公開しておりますが、スクリーンで上映し大勢の皆様でご鑑賞いただく上映会も開催しております。

今回は「県の記念日」にあわせて、昭和30年頃の集団就職に関するニュースのほか、ふるさとの美しい四季を紹介する5本の作品を上映します。

どれも当時を偲ばせる貴重な映像ばかりです。懐かしい昭和の秋田をぜひご覧ください。



## ～ナレーション採録～ ■ナレーションの一部を採録しました■

### ① 昭和33年4月「県政ニュースNo. 11」

#### ・児童福祉（保育所）、すしづめ学級

明るい日差しを浴びてすくすく育つ良い子たち。このように完備された保育所は県下で72カ所が数えられます。しかし中にはまだこうしたところにしか遊び場を持たない子どもたちも見つけられます。やはり子どもたちには平等にいいの広場が与えられなければなりません。町や村の子どもたちにも共通した楽しみをと雄勝福祉事務所のおじさんたちが自分たちで作った人形芝居をやっていますが、やんちゃ盛りもこれにはすっかり満足の表情でした。



健康第一は本県のモットーです。病院や保健所の設備もだんだん新しく整ってきました。県民の死亡率も年々減っていることはうれしいことです。しかし本県にはこのように病人を遠くの病院へ運ばなければならない医者のいない地区がまだ18カ所もあります。雪の深い本県では屋内体操場がないため、せまい廊下で体操をやっている学校も少なくありません。窮屈なすしづめ学級。せまい職員室でこんなに窮屈な思いをしている先生たちもいます。こうした問題は一日も早く解決が望まれることです。

#### ・集団就職出発

一方職業安定所の窓口には職を求める多くの人たちの姿がみられます。農村の二、三男対策とともにこうした労務者対策は大きな問題です。それにはいろいろな産業の発展、特に工業をもっと盛んにしなければなりません。こうした中にもこの春県内の中学校を卒業した約800人が希望に胸をふくらませ関東関西など県外の職場へと出発していきました。遠ざかるふるさとの野山に小さな心は力強く別れを告げていました。



「県の記念日」とは？  
明治4年の廃藩置県によって「秋田県」が誕生した8月29日を記念し、昭和40年に制定されました。

### ② 昭和34年6月「県政ニュースNo. 21」

#### ・東北に初のディーゼル機関車(奥羽本線)

6月1日から秋田～米沢間の直通列車に待望のディーゼル機関車がお目見えしました。東北では初めての運転とあって秋田鉄道管理局ではこのほどその試乗会を行いました。このDF50型機関車は、時速最高90キロ、1,400馬力。現在は急行鳥海・津軽2往復と普通列車2往復を運転、35年には秋田～米沢間、客車全部に使用する計画です。機関車には振動防止の特殊な装置も備えられ、運転室は展望車さながら。こうして、ばい煙と振動でとかく不評だったみちのくの汽車の旅も快適になることでしょう。



### ③ 昭和35年3月「県政ニュースNo. 25」

#### ・予算県議会開く



昭和35年度の県当初予算案を審議する2月定例県議会は2月26日招集されました。新しい議事堂で審議される新しい予算。議会の運営も合理化された新しい方法と、新しくくめの議事堂内は、清新な感じでした。総額144億5千万円にわたる予算案のぶあつい審議資料が財政課から議会事務局へ運ばれ、開会を待つ議席に配られていきます。いよいよ開会。これまで冒頭行われた知事の提案理由説明は、今度から施政演説に変わりました。続いて教育委員長、公安委員長の施政演説が行われ、むこう30日間にわたる予算県議会はここに新しい形でスタートしたのであります。

#### ・健康な村めざして(旧雄和村)



秋田市から船で雄物川をのぼること30キロ、河辺郡雄和村の大正寺地区は出羽岳陵に抱かれた一寒村です。この地区一帯は本県でも最も高血圧患者の多いところでしたが、いま食生活の改善で新しい健康な村に生まれ変わろうとしています。白米の食べ過ぎ、極端に偏った栄養などこれまでは、ここも山間奥地の農村に多くみられるような食生活に対する関心の薄いところでした。多い高血圧患者、

低い子供らの体位など、こうした身体の障害をなかば宿命のように考えてきました。まず、村では米だけに頼ることを改めようと、原野を高度に利用した酪農を取り入れ、農業経営の合理化を進めていきました。「健康は牛乳で」と、共同処理所からは、新鮮な牛乳が部落へ流れるようになりました。雪消えの遅い村の学校。酪農と平行して村が強く計画を進めたこの学校給食も、2年前子供らの歓声の中に始められました。こうして学校給食は、部落の人々の食生活への関心を高めていき、去年は県の栄養改善実践地区に指定されたのです。春近きを思わせる窓からの日差し。いま、村の栄養改善推進員の人々が、保健所の栄養士さんを囲んで、保健や栄養料理の実習に熱心です。山ふところに暗く沈んできたこの地区の生活に、部落の熱意が、健康という幸せな実を結ぶことでしょう。

「8月29日」は県の記念日です。秋田県は今年（平成29年）で、146歳を迎えます。

